

インフラメンテの未来 テーマに新作動画公開

東亜グラウト
工業

東亜グラウト工業は、公式YouTubeチャンネルで新作

動画「インフラメンテナンスの
未来を語る」を公開した。

動画内では、同社の山口乃理夫・代表取締役社長が、アナウンサーの野嶋紗己子さんを相手に、「我々は自然災害リスクの高い国に住んでいる」として、ゲリラ豪雨の発生回数や土砂災害の発生件数、下水道管の総延長（約50万キロ）の中の耐用年数50年を経過した老朽管路の割合（約4万キロ＝約7%）などを紹介。問題解決に向けた技術などを紹介する」



動画QR

決に向けた
問題解
介。問題解
決に向けた

技術の一例として、道路を掘らずに老朽化した下水管を甦らせる管更生技術や衛星による漏水検知技術、ドローンによる下水管内調査・斜面調査などを紹介している。

さらに人手不足については「AIやDXの活用により、将来的には足りるようになるのではないか。インフラの更新や改築などの省人化のビジネスモデルを作ることができれば、今度は世界で戦えるようになる」と解説したほか、「我々の業界も新4K（希望がある・カッコいい・給料が高い・休暇がとれる）を目指していくといけない。最先端の技術を取り入れていくことで必ず憧れる業界になる」とコメントしている。